

森林環境教育専用フィールドを設定

2月上旬に鶴岡市の庄内森林管理署において、酒田市の社会福祉法人「西荒瀬保育園」と森林管理署との間で「遊々の森」協定の締結が行われました。

西荒瀬保育園は、平成19年から当センターと連携して「保育園児の森林環境教育」に取り組んでおり、園児達の感性の向上などに優れた効果をもたらしています。今回の締結は「更に学習効果が発揮できるように専用フィールドを設定して欲しい」との保育園からの要望に応じて実現したもので、当センターは保育園と森林管理署の調整役を務めました。

今回設定した「遊々の森」は新林(しんばやし)国有林にあることから、「しんちゃんの森」と名付けられましたが、これにはアニメの「クレヨンしんちゃん」のように園児達がたくましく育てて欲しいとの願いも込められているとのことです。

来年度からは、新しいフィールドを活用した森林環境教育を通じて、将来を担う子ども達に「人間形成のスタート」としての人材育成に貢献できればと考えております。



「遊々の森」の協定を締結し、門田理事長と握手をかわす植松森林管理署長